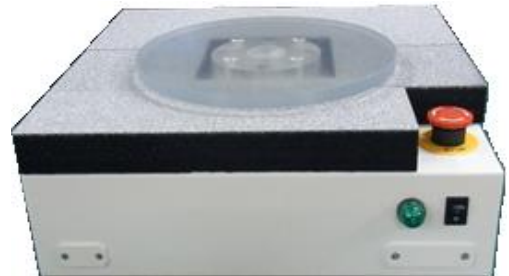


電動ターンテーブルのPCからの制御方法

◇電動ターンテーブルをパソコン(PC)で制御する方法

[アプリケーション 〜*Application*〜]

PCから操作できる電動ターンテーブル(テーブル径200mm、耐荷重約10kg、ACアダプタ電源、RS232CケーブルでPC接続)をオプションとして販売しており、弊社製の電波暗箱に組み込むことができます。
この電動ターンテーブルをPCのターミナルソフトからシリアル通信で制御する方法を説明します。



[ソリューション 〜*Solution*〜]

①PCのターミナルソフトの設定(Tera Termでの設定例になります。)

Tera Term: シリアルポート 設定

ポート(P): COM4
ボー・レート(B): 9600
データ(D): 8 bit
パリティ(A): odd
ストップ(S): 1 bit
フロー制御(F): Xon/Xoff
送信遅延
0 ミリ秒/字(C) 0 ミリ秒/行(L)
OK
キャンセル
ヘルプ(H)

Tera Term: 端末の設定

端末サイズ(T): 80 x 24
改行コード
受信(R): CR
送信(M): CR+LF
OK
キャンセル
ヘルプ(H)
☒ ウィンドウサイズ(S):
☐ 自動的に調整(W):
端末ID(I): VT100
☒ ローカルエコー(L):
応答(A):
☐ 自動切り替え(VT<->TEK)(U):
漢字-受信(K): UTF-8
漢字-送信(J): UTF-8
漢字イン(N): ^[\$B
漢字アウト(O): ^[[B
☐ 7bit カタカナ
☐ 7bit カタカナ
ロケール(C): japanese
言語コード(P): 932

②主要コマンドの一覧表を示します。

コマンド	オペランド1	オペランド2	命令内容
@ORG	(なし)	(なし)	原点復帰
@MOVD	座標値(°)	速度(%)	座標指定移動実行
@WRITE PRM	(移動量等のパラメータの入力モードとなり、`Zで終了)		パラメータの書き込み
@X+	(なし)	(なし)	+指定量移動
@X-	(なし)	(なし)	-指定量移動

◆これらのコマンドのみで簡単にターンテーブルをPCから制御することができます。

例えば、"@WRITE PRM"で移動量を10° に設定し、"@X+"を繰り返すことで、10° ずつ回転させることができます。

◆ターンテーブルが移動を完了したときに、24Vの位置決め完了信号を出力させることができます。

この位置決め完了信号をトリガとして計器の測定を開始することで、ターンテーブルと連動した測定ができます。

[参考価格 〜*Price*〜]

・ 電動ターンテーブル MT107 ￥ 390,000 〜

※詳細は弊社営業担当までお問合せ下さい。

2023/4 Rev.1